

保健学科教育学修プログラム

看護学専攻

平成29年度

1年次

【米子地区授業時間】

1時限	:	8:40 ~ 10:10
2時限	:	10:30 ~ 12:00
3時限	:	13:00 ~ 14:30
4時限	:	14:50 ~ 16:20
5時限	:	16:40 ~ 18:10

【鳥取地区授業時間】

1時限	:	8:45 ~ 10:15
2時限	:	10:30 ~ 12:00
3時限	:	13:00 ~ 14:30
4時限	:	14:45 ~ 16:15
5時限	:	16:30 ~ 18:00

平成29年度 授業時間配当表(保健学科看護学専攻1年次)

月	前 期					後半(7+1)				
	前半(7+1)					後半(7+1)				
	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
月	保健医療概論	人体の構造と機能Ⅰ	教養科目	人間発達と健康論		保健医療概論	人体の構造と機能Ⅰ	教養科目	人間発達と健康論	
火		教養科目(人文・社会)	主題:発達心理学	独/仏中/韓			教養科目(人文・社会)	主題:発達心理学	独/仏中/韓	
水	コミュニケーション英語A	教養科目(人文・社会)	生命倫理	キャリア入門	教養科目	コミュニケーション英語A	教養科目(人文・社会)	生命倫理	キャリア入門	教養科目
木	教養科目	人体の構造と機能Ⅱ		健スポーツ科学実技	教養科目	教養科目	人体の構造と機能Ⅱ		健スポーツ科学実技	教養科目
金	教養科目	看護学原論	情報リテラシ	コミュニケーション英語B	教養科目	教養科目	看護学原論	情報リテラシ	コミュニケーション英語B	教養科目

月	後 期					後半(7+1)				
	前半(7+1)					後半(7+1)				
	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
月	主題:社会福祉	教養科目(人文・社会)	教養科目			主題:社会福祉	教養科目(人文・社会)	教養科目		
火		教養科目(人文・社会)	栄養と代謝	独/仏中/韓	実践英語A		教養科目(人文・社会)	栄養と代謝	独/仏中/韓	実践英語A
水	実践英語B	教養科目(人文・社会)	化学実験演習		実践英語B	教養科目(人文・社会)	化学実験演習			
木		コミュニケーション法	生活援助論演習Ⅰ			看護学方法論	生活援助論演習Ⅰ			
金	基礎看護学実習Ⅰ	看護学方法論	看護学方法論	人体の構造と機能Ⅲ		基礎看護学実習Ⅰ	看護学方法論	科学実験演習		

生命・検査との合同講義 検査との合同講義

平成29年度・七曜表

		前 期						
		日	月	火	水	木	金	土
4月								1
		2	3	4	5	6	7	8
		9	10	11	12	13	14	15
		16	17	18	19	20	21	22
		23	24	25	26	27	28	29
	30							
5月			1	2	3	4	5	6
		7	8	9	10	11	12	13
		14	15	16	17	18	19	20
		21	22	23	24	25	26	27
		28	29	30	31			
6月		28				1	2	3
		4	5	6	7	8	9	10
		11	12	13	14	15	16	17
		18	19	20	21	22	23	24
		25	26	27	28	29	30	
7月								1
		2	3	4	5	6	7	8
		9	10	11	12	13	14	15
		16	17	18	19	20	21	22
		23	24	25	26	27	28	29
	30	31						
8月		30		1	2	3	4	5
		6	7	8	9	10	11	12
		13	14	15	16	17	18	19
		20	21	22	23	24	25	26
		27	28	29	30	31		
9月							1	2
		3	4	5	6	7	8	9
		10	11	12	13	14	15	16
		17	18	19	20	21	22	23
		24	25	26	27	28	29	30

		後 期						
		日	月	火	水	木	金	土
10月		1	2	3	4	5	6	7
		8	9	10	11	12	13	14
		15	16	17	18	19	20	21
		22	23	24	25	26	27	28
		29	30	31				
11月					1	2	3	4
		5	6	7	8	9	10	11
		12	13	14	15	16	17	18
		19	20	21	22	23	24	25
		26	27	28	29	30		
12月							1	2
		3	4	5	6	7	8	9
		10	11	12	13	14	15	16
		17	18	19	20	21	22	23
		24	25	26	27	28	29	30
	31							
1月			1	2	3	4	5	6
		7	8	9	10	11	12	13
		14	15	16	17	18	19	20
		21	22	23	24	25	26	27
		28	29	30	31			
2月						1	2	3
		4	5	6	7	8	9	10
		11	12	13	14	15	16	17
		18	19	20	21	22	23	24
		25	26	27	28			
3月						1	2	3
		4	5	6	7	8	9	10
		11	12	13	14	15	16	17
		18	19	20	21	22	23	24
		25	26	27	28	29	30	31

前期セメスター授業期間(4/10~8/9)
 第1Q(4/10~6/10)
 第2Q(6/12~8/9)
 予備日(予備日は、気象警報の発令等により休講となった授業等の実施にあてる。)
 振替授業日

後期セメスター授業期間(10/2~2/14)
 第3Q(10/2~12/1)
 第4Q(12/4~2/14)

【平成29年度試験期間:参考】

学期	試験期間	対象科目
前期	6月2日(金)~6月8日(木)	第1Q科目
	8月1日(火)~8月7日(月)	前期セメスター科目・第2Q科目
後期	11月22日(水)~11月29日(水)	第3Q科目
	2月5日(月)~2月9日(金)	後期セメスター科目・第4Q科目

保健学科看護学専攻1年次目次

前期

	区分	授業科目名		
必修	入門	大学入門ゼミ	学シス参照
必修	入門	情報リテラシ	学シス参照
必修	入門	キャリア入門	学シス参照
必修	主題	保健医療概論	学シス参照
必修	基幹(人文・社会)	生命倫理	学シス参照
必修	外国語	コミュニケーション英語A	学シス参照
必修	外国語	コミュニケーション英語B	学シス参照
	外国語	ドイツ語基礎Ⅰ	学シス参照
選必	外国語	フランス語基礎Ⅰ	学シス参照
	外国語	中国語基礎Ⅰ	学シス参照
	外国語	韓国語基礎Ⅰ	学シス参照
必修	健康スポーツ	健康スポーツ科学実技	学シス参照
必修	専門科目	人体の構造と機能Ⅰ	1
必修	専門科目	人体の構造と機能Ⅱ	2
必修	専門科目	人間発達と健康論	3
必修	専門科目	看護学原論	4

後期

	区分	授業科目名		
必修	主題	社会福祉	学シス参照
必修	基幹(実験演習)	化学実験演習	学シス参照
必修	基幹(実験演習)	科学実験演習	5
必修	外国語	実践英語A	学シス参照
必修	外国語	実践英語B	学シス参照
	外国語	ドイツ語基礎Ⅱ	学シス参照
選必	外国語	フランス語基礎Ⅱ	学シス参照
	外国語	中国語基礎Ⅱ	学シス参照
	外国語	韓国語基礎Ⅱ	学シス参照
必修	専門科目	栄養と代謝	6
必修	専門科目	コミュニケーション法	7
選必	専門科目	人体の構造と機能Ⅲ	8
必修	専門科目	看護学方法論	9
必修	専門科目	生活援助論演習Ⅰ	10 ~ 11
必修	専門科目	基礎看護学実習Ⅰ	12

※選択科目: 選択、選択必修科目: 選必、必修科目: 必修は平成29年度入学者を基準としています。

※選択科目については、上記に記載していませんので、注意してください。

※主題、基幹(人文・社会分野)から卒業までに15単位以上修得してください。

※1年次で哲学・倫理学、心理学、芸術入門、文学から4単位以上修得してください。

※1年次で憲法学、政治学、経済学、歴史学から4単位以上修得してください。

※1年次で基幹(実験演習)から1単位以上修得してください。

※選必の外国語は前期と後期で同じ言語を修得してください。

※専門科目については、課程表を確認してください。

※学シス参照は、学務支援システムのシラバスを参照してください。

人体の構造と機能 I

到達目標: 医学の基盤として人体の構造について学ぶ。

科目責任者(所属): 森 徹自(生体制御学)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	4/10(月)	2	湖山	解剖学概論	森 徹自	生体制御学	解剖学とは何かを理解する。	解剖学
2	4/17(月)	2	湖山	組織学概論	森 徹自	生体制御学	人体を細胞レベルで理解する。	組織学
3	4/24(月)	2	湖山	運動器系1	森 徹自	生体制御学	からだの支持と運動を理解する。	骨・関節、運動
4	5/1(月)	2	湖山	運動器系2	森 徹自	生体制御学	からだの支持と運動を理解する。	骨格筋、運動
5	5/15(月)	2	湖山	心・脈管系	森 徹自	生体制御学	脈管系の構造と機能を理解する。	心臓、動・静脈
6	5/22(月)	2	湖山	消化器系1	森 徹自	生体制御学	消化管の構造と機能を理解する。	消化管
7	5/29(月)	2	湖山	消化器系2	森 徹自	生体制御学	消化器系実質臓器の構造と機能を理解する。	肝臓、胆嚢、膵臓
8	6/5(月)	2	湖山	呼吸器系	森 徹自	生体制御学	呼吸器系の構造と機能を理解する。	肺、ガス交換
9	6/12(月)	2	湖山	泌尿器系	森 徹自	生体制御学	泌尿器系の構造と機能を理解する。	腎臓、尿管、膀胱、尿道
10	6/19(月)	2	湖山	生殖器系	森 徹自	生体制御学	男性・女性生殖器の構造と機能を理解する。	精巣、精管、卵巢、子宮
11	6/26(月)	2	湖山	内分泌系	森 徹自	生体制御学	内分泌系の構造と機能を理解する。	視床下部、下垂体、副腎、甲状腺、上皮小体、松果体
12	7/3(月)	2	湖山	中枢神経系	森 徹自	生体制御学	脳の構造と機能を理解する。	脳、脊髄
13	7/10(月)	2	湖山	末梢神経系	森 徹自	生体制御学	末梢神経系の構造と機能を知る。	脳脊髄神経、自律神経
14	7/24(月)	2	湖山	感覚器	森 徹自	生体制御学	感覚受容器の構造と機能を知る。。。	視覚、聴覚、平衡覚、味覚
15	7/31(月)	2	湖山	生体防御系	森 徹自	生体制御学	リンパ系器官の構造と機能を知る。	リンパ節、胸腺、脾臓、扁桃、免疫

教育プログラムデザインとの関連: 2、3、5

学位授与の方針との関連: 1、3

評価: レポート30% 定期試験: 70%

教科書: 入門人体解剖学 改訂第5版 藤田 恒夫 南江堂

参考書: トートラ人体解剖生理学 原著8版 丸善出版

人体の構造と機能Ⅱ

到達目標：人体の生理機能を理解する。

科目責任者(所属)：二宮 治明(生体制御学)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	4/13(木)	2	湖山	神経系総論	二宮 治明	生体制御学	神経系の機能を理解する。	膜電位、神経細胞、シナプス
2	4/20(木)	2	湖山	中枢神経	二宮 治明	生体制御学	中枢神経系の機能を理解する。	脊髄、脳、脳神経
3	4/27(木)	2	湖山	自律神経	二宮 治明	生体制御学	自律神経系の機能を理解する。	交感神経、副交感神経
4	5/2(火)	2	湖山	体性神経	二宮 治明	生体制御学	体性神経系の機能を理解する。	感覚、運動
5	5/11(木)	2	湖山	特殊感覚	二宮 治明	生体制御学	特殊感覚の機能を理解する。	嗅、味、視、聴、平衡
6	5/18(木)	2	湖山	内分泌Ⅰ	二宮 治明	生体制御学	内分泌の機能を理解する。	下垂体、甲状腺
7	5/25(木)	2	湖山	内分泌Ⅱ	二宮 治明	生体制御学	内分泌の機能を理解する。	副腎、ランゲルハンス島
8	6/8(木)	2	湖山	消化	二宮 治明	生体制御学	消化器系の機能を理解する。	口腔、食道、胃、肝胆膵、腸
9	6/15(木)	2	湖山	循環Ⅰ	二宮 治明	生体制御学	循環器系の機能を理解する。	血液循環、刺激伝達系
10	6/22(木)	2	湖山	循環Ⅱ	二宮 治明	生体制御学	循環器系の機能を理解する。	心周期、心拍出量
11	6/29(木)	2	湖山	呼吸	二宮 治明	生体制御学	消化器系の機能を理解する。	気道、肺、ガスの運搬
12	7/6(木)	2	湖山	血液	二宮 治明	生体制御学	呼吸器系の機能を理解する。	血漿、赤血球、白血球、血小板
13	7/13(木)	2	湖山	腎臓	二宮 治明	生体制御学	腎臓の機能を理解する。	糸球体ろ過、尿細管再吸収・分泌
14	7/20(木)	2	湖山	体液	二宮 治明	生体制御学	体液の機能を理解する。	水、電解質、酸塩基平衡
15	7/27(木)	2	湖山	生殖器	二宮 治明	生体制御学	生殖器系の機能を理解する。	精巣、卵巣

教育گرانデザインとの関連：2、5

学位授与の方針との関連：2

評価：定期試験 100%

教科書：N教授の生理学講義ノート、二宮治明 著、日本医事新報社、2016年

参考書：トートラ人体の構造と機能 第4版、丸善出版、2012年

人間発達と健康論

科目到達目標: 胎児から老年期までの人間の成長と発達について理解し、それに伴う健康問題について述べる事ができる。

科目責任者(所属): 花木 啓一(母性・小児家族看護学)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	4/10(月)	4	湖山	人間発達・ライフサイクル・成育医療	花木 啓一	母性・小児家族看護学	人間発達と医療の関係が理解できる。	成長と発達、ライフサイクル、成育医療
2	4/17(月)	4	湖山	思春期の心と身体	鈴木 康江	母性・小児家族看護学	思春期の特徴と健康問題が理解できる。	思春期、第2次性徴、ピアカウンセリング、性感染症
3	4/24(月)	4	湖山	妊娠	鈴木 康江	母性・小児家族看護学	妊娠の成立と望まない妊娠を避ける方法が理解できる。	妊娠のメカニズム、避妊
4	5/1(月)	4	湖山	出産、育児、母子の絆形成	佐々木 くみ子	母性・小児家族看護学	出産と育児、母子の絆形成が理解できる。	周産期、家族の形成
5	5/15(月)	4	湖山	新生児とは	花木 啓一	母性・小児家族看護学	新生児の特徴と生理を理解できる	周生期、外界への適応、アプガースコア
6	5/22(月)	4	湖山	乳幼児の栄養と身体発育	花木 啓一	母性・小児家族看護学	乳幼児の身体発達とその評価方法が理解できる。	成長曲線、臓器別の発達
7	5/29(月)	4	湖山	乳幼児の運動発達	花木 啓一	母性・小児家族看護学	乳幼児の運動機能の発達とその評価方法が理解できる。	原始反射、粗大運動発達、微細運動発達
8	6/5(月)	4	湖山	乳幼児期の心理・社会的発達	花木 啓一	母性・小児家族看護学	乳幼児期の心理・社会的発達とその異常が理解できる。	精神発達、社会性の獲得、軽度発達障害
9	6/12(月)	4	湖山	小児の心と身体(1)	南前 恵子	母性・小児家族看護学	小児の心身の発達とその異常が理解できる。	基本的な生活習慣、しつけ、遊び、心の発達、事故
10	6/19(月)	4	湖山	学童期の心と身体	花木 啓一	母性・小児家族看護学	学童期の特徴と健康問題が理解できる。	身体発育、心理社会的発達、学校と家庭
11	6/26(月)	4	湖山	小児の心と身体(2)	南前 恵子	母性・小児家族看護学	小児の心身の発達とその異常が理解できる。	基本的な生活習慣、しつけ、遊び、心の発達、事故
12	7/3(月)	4	湖山	老年期の身体と心(1)	片岡 英幸	成人・老人看護学	老年期の身体的変化が理解できる。	加齢による身体的変化
13	7/10(月)	4	湖山	老年期の身体と心(2)	片岡 英幸	成人・老人看護学	高齢者の発達課題と多様性が理解できる。	高齢者の発達課題、生きてきた人生
14	7/24(月)	4	湖山	成人期の健康問題	萩野 浩	基礎看護学	成人期の健康について理解できる	運動器の健康、骨量、ロコモティブシンドローム
15	7/31(月)	4	湖山	人間発達と医療・小児疾病の特徴	花木 啓一	母性・小児家族看護学	人間発達と医療、小児疾病について理解できる	人間発達論、小児疾病

教育グランドデザインとの関連: 1,2,6,7

学位授与の方針との関連: 1,4

評価: レポート80%、小テスト20%

看護学原論

科目到達目標 1.看護の原理と看護の原形について理解を深める。

2.看護の目的論、対象論、方法論に関する基本的な考え方について理解できる。

科目責任者(所属):深田 美香(基礎看護学)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	4/14(金)	2	共 C21	看護と看護学(1)	深田 美香	基礎看護学	看護の定義、目的、機能についてイメージすることができる	看護の定義、看護の目的、看護の対象、看護の場、看護の機能
2	4/21(金)	2	共 C21	看護と看護学(2)	深田 美香	基礎看護学	看護の共通原理、看護の対象、看護学の対象について理解する	看護の原形、看護の社会化、看護の原理
3	4/28(金)	2	共 C21	看護と看護学(3)	深田 美香	基礎看護学	看護の専門性について考える	看護の専門性、保健師助産師看護師法の、診療の補助と療養上の世話
4	5/8(月)	2	共 C21	看護の原理とナイチンゲール(1)	深田 美香	基礎看護学	「What it is, and what it is not」の意味と価値について考える	看護の学問化、看護覚書き、自然、生活、生命力
5	5/12(金)	2	共 C21	看護の原理とナイチンゲール(2)	深田 美香	基礎看護学	病気をつまめる看護の視点を理解する	病気、回復過程、自然治癒力、内部環境と外部環境
6	5/19(金)	2	共 C21	看護の目的論(1)	深田 美香	基礎看護学	「看護の5つのものさし」を看護の原理として理解する	健康、生命力、日常生活、持てる力、判断基準、看護のものさし、回復過程
7	5/26(金)	2	共 C21	看護の目的論(2)	深田 美香	基礎看護学	「看護の5つのものさし」を看護の原理として理解する	健康、生命力、日常生活、持てる力、判断基準、看護のものさし、回復過程
8	6/2(金)	2	共 C21	看護の対象論(1)	深田 美香	基礎看護学	ナイチンゲール思想と看護の対象論について理解する	病人、生活、統合性、自然過程、生命過程、認識過程、生活過程、社会過程
9	6/16(金)	2	共 C21	看護の対象論(2)	深田 美香	基礎看護学	生活している人間として看護の対象者をとらえる視点を理解する	生命の維持過程、生活習慣の獲得発展過程、社会関係の維持発展過程
10	6/23(金)	2	共 C21	看護の対象論(3)	深田 美香	基礎看護学	対象論の構造と全体像について理解する	全体像、発達段階、健康障害の種類、健康の段階、生活過程の特徴、
11	6/30(金)	2	共 C21	生活者としての人間の理解(1)	深田 美香	基礎看護学	生活主体としての人間、病とともに生きる体験について理解を深める	生活、基本的欲求、発達課題、生きがい、承認欲求、QOL
12	7/7(金)	2	共 C21	生活者としての人間の理解(2)	深田 美香	基礎看護学	生活主体としての人間、病とともに生きる体験について理解を深める	生活、基本的欲求、発達課題、生きがい、承認欲求、QOL
13	7/14(金)	2	共 C21	看護の方法論(1)	深田 美香	基礎看護学	看護実践の特徴を理解する	観察、アセスメント、課題の明確化、計画、実施、評価
14	7/21(金)	2	共 C21	看護の方法論(2)	深田 美香	基礎看護学	看護実践の特徴を理解する	観察、アセスメント、課題の明確化、計画、実施、評価
15	7/28(金)	2	共 C21	まとめ	深田 美香	基礎看護学	看護の目的、対象、方法について理解を深める	人間、健康、環境、生活、看護の機能

教育ブランドデザインとの関連:2,3,4,5,6,7

学位授与の方針との関連:1,2,3,4

指定教科書:1. 金井一薫 著、実践を創る 新・看護学原論、現代社、2012

参考書: 講義中に紹介する

評価: 課題60点(15点×4回)、レポート40点(課題、レポートテーマ、評価基準は別途説明する)

科学実験演習

科目到達目標: 種々の実験を行うことで、科学実験遂行の手順や得られた結果の解析方法、発表方法を理解する。

科目責任者(所属): 萩野 浩(基礎看護学)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	12/7(木)	5	111	実験のガイダンス	萩野	基礎看護学	実験内容を理解する、実験実習班の構成	
2	12/8(金)	3	基礎看護実習室	実験データの処理について	萩野, 山本, 青戸	基礎看護学	統計手法を用いた正しい分析方法を理解する	
3	12/8(金)	4	基礎看護実習室	実験データの処理について	萩野, 山本, 青戸	基礎看護学	統計手法を用いた正しい分析方法を理解する	
4	12/15(金)	3	111, ATU1,2,他	実験1	井上、藤原、高村、深田、萩野、笠城、花木、網崎、片岡、山田、石黒	基礎看護学 成人・老人	科学実験を理解する	
5	12/15(金)	4	111, ATU1,2,他	実験1	井上、藤原、高村、深田、萩野、笠城、花木、網崎、片岡、山田、石黒	看護学 母性・小児	科学実験を理解する	
6	12/22(金)	3	111, ATU1,2,他	実験1	井上、藤原、高村、深田、萩野、笠城、花木、網崎、片岡、山田、石黒	家族看護学 生体制御学	科学実験を理解する	
7	12/22(金)	4	111, ATU1,2,他	実験1	井上、藤原、高村、深田、萩野、笠城、花木、網崎、片岡、山田、石黒	病態検査学 臨床心理学	科学実験を理解する	
8	1/19(金)	1	111, ATU1, 2,5,6,7,8	データ解析1	萩野、山本、青戸	基礎看護学	データの正しい分析方法を理解する	
9	1/19(金)	3	111, ATU1,2,他	実験2	井上、藤原、高村、深田、萩野、笠城、吉岡、廣岡、栗納、奥田	基礎看護学 地域・精神	科学実験を理解する	
10	1/19(金)	4	111, ATU1,2,他	実験2	井上、藤原、高村、深田、萩野、笠城、吉岡、廣岡、栗納、奥田	看護学	科学実験を理解する	
11	1/26(金)	3	111, ATU1,2,他	実験2	井上、藤原、高村、深田、萩野、笠城、吉岡、廣岡、栗納、奥田	生体制御学 病態検査学	科学実験を理解する	
12	1/26(金)	4	111, ATU1,2,他	実験2	井上、藤原、高村、深田、萩野、笠城、吉岡、廣岡、栗納、奥田	臨床心理学	科学実験を理解する	
13	2/1(木)	5	111, ATU1, 2,5,6,7,8	データ解析2	萩野、山本、青戸	基礎看護学	科学データの解析について理解を深める	
14	2/2(金)	3	111	実験結果発表・まとめ	萩野	基礎看護学	実験の解析結果をまとめて発表する	
15	2/2(金)	4	111	実験結果発表・まとめ	萩野	基礎看護学	実験の解析結果をまとめて発表する	

教育グランデザインとの関連: 1、2 学位授与方針との関連: 1

評価: 発表50%、レポート50%

栄養と代謝

到達目標：生体構成分子を化学的に理解するとともに、糖質、たんぱく質、脂質の消化、吸収および細胞内代謝を理解する。

科目責任者(所属)：片岡 英幸(成人・老人看護学)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	10/3(火)	3	湖山	生化学の意義 生体分子の概要	上田 悦子	生体制御学	栄養生化学の概要、生体構成分子の種類を説明できる。	栄養素、日本人の食事摂取基準、生体分子
2	10/10(火)	3	湖山	アミノ酸、タンパク質	上田 悦子	生体制御学	タンパク質の生理的機能、アミノ酸の基本構造と性質、タンパク質の構造を説明できる。	アミノ酸、両性イオン、等電点、ペプチド結合、一次構造、二次構造、 α -ヘリックス、 β 構造、三次構造、四次構造、変性
3	10/17(火)	3	湖山	酵素	上田 悦子	生体制御学	酵素の定義、命名法、反応様式による分類、酵素反応の特徴を説明できる。	酵素活性、基質、反応速度、補酵素、FAD、FMN、NAD、NADP、シユリス定数、競合阻害、非競合阻害、不競合阻害、アロステリック酵素、アインザイム
4	10/24(火)	3	湖山	糖質	上田 悦子	生体制御学	糖質の定義、生体における役割、命名法、化学的性質を説明できる。	単糖類、オリゴ糖類、多糖類、異性体、誘導体、グルコサミノグリカン
5	10/31(火)	3	湖山	脂質	上田 悦子	生体制御学	脂質の定義、生体における役割、種類と基本構造を説明できる。	単純脂質、複合脂質、飽和脂肪酸、不飽和脂肪酸、過酸化脂質、トリグリセリド、リン脂質、ステロイド、ホリタンパク質
6	11/7(火)	3	湖山	生体膜	上田 悦子	生体制御学	生体膜の構造と機能を説明できる。	生体膜、脂質二重層、リン脂質、エンドサイトーシス、エキソサイトーシス、受動輸送、能動輸送、受容体
7	11/14(火)	3	湖山	核酸	上田 悦子	生体制御学	核酸、基本構造と役割を説明できる。	ヌクレオチド、ヌクレオチド、リボース、デオキシリボース、DNA、mRNA、tRNA、rRNA、塩基対
8	11/28(火)	3	湖山	ビタミン、無機質	上田 悦子	生体制御学	ビタミン、無機質の種類と機能を説明できる。	ビタミンA、ビタミンD、ビタミンE、ビタミンK、ビタミンB群、ビタミンC、過剰症、欠乏症、主要無機質、微量元素
9	12/5(火)	3	湖山	エネルギー代謝	上田 悦子	生体制御学	生体内における酸化還元反応によるエネルギー獲得について説明できる。	高エネルギー化合物、ミトコンドリア電子伝達系、酸化的リン酸化、酸化還元酵素、活性酸素、酸素ラジカルカスベンジャー
10	12/12(火)	3	湖山	糖の代謝	片岡 英幸	成人・老人看護学	糖の代謝について理解できる。	解糖系、クエン酸回路、糖新生、ペントースリン酸回路
11	12/19(火)	3	湖山	脂質の代謝	片岡 英幸	成人・老人看護学	脂質の代謝について説明できる。	リボ蛋白、コレステロール、脂肪酸、 β 酸化、リン脂質
12	12/26(火)	3	湖山	アミノ酸の代謝	片岡 英幸	成人・老人看護学	アミノ酸の代謝について説明できる。	アミノ酸、脱アミノ、尿素回路
13	1/16(火)	3	湖山	核酸の代謝、DNA複製、修復	片岡 英幸	成人・老人看護学	核酸の代謝、DNA複製、修復	プリン環、ピリジン環、de novo合成、サルベージ経路
14	1/23(火)	3	湖山	転写、翻訳、タンパク質の合成	片岡 英幸	成人・老人看護学	DNA複製、修復、転写、翻訳、タンパク質の合成を理解する。	転写、翻訳、タンパク質合成
15	1/30(火)	3	湖山	まとめ	片岡 英幸	成人・老人看護学	栄養と代謝が理解できる。	栄養と代謝全般

教育ブランドデザインとの関連：2.3 学位授与の方針との関連：1

教科書：1. 生化学(新スタンダード栄養・食物シリーズ)(東京化学同人)

参考書：1. シンプル生化学(南江堂) 2. はじめの一步の生化学・分子生物学(羊土社)

評価：定期試験の結果により評価する。

各担当者が出題し、それぞれの配点は担当時間に比例するよう配分する。

3. 基礎からしっかり学ぶ生化学(羊土社)

コミュニケーション法

到達目標:コミュニケーションの理論とその実践的な活用方法を身につける。

科目責任者(所属):最上 多美子(臨床心理学)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座 分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	10/5(木)	2	111	援助関係のコミュニケーション	最上 多美子	臨床心理学	援助関係やコミュニケーションに関する基本的理論を学び人間理解を目指す。	ジョハリの窓、援助関係
2	10/12(木)	2	111	非言語的コミュニケーション	最上 多美子	臨床心理学	コミュニケーションの非言語的側面の観察と留意点に気付く。	体の動き、空間、環境
3	10/19(木)	2	111	人間の発達と人間関係のコミュニケーション	菊池 義人	臨床心理学	人間の発達と人間関係のコミュニケーションの広がりについて理解を深める。	母子・家族・友人関係、遊び・社会性・恋愛関係、互酬性、自己開示、好悪の感情とそのパランスなど
4	10/26(木)	2	111	人を傷つけ、萎縮させるコミュニケーション	菊池 義人	臨床心理学	人を傷つけ、萎縮させるコミュニケーションの理解から、人を癒し、援助するコミュニケーションの基本原理を考える。	心に痛みとそこからの回復、ダブルバインド、ハイEE、
5	11/9(木)	2	111	人の心を癒し、成長させるコミュニケーション	菊池 義人	臨床心理学	人を傷つけ、萎縮させるコミュニケーションの理解から、人を癒し、援助するコミュニケーションの基本原理を考える。	自由で創造的なコミュニケーション、拘束的でないこと、安らぐこと、成長すること
6	11/16(木)	2	111	心理療法とカウンセリングのコミュニケーション	菊池 義人	臨床心理学	心理療法やカウンセリングなど援助的なコミュニケーションについて理解を深める。	心理療法の歴史、シュヴィング法、催眠からリラクゼーションへ、意識と無意識、自己表現、創造性
7	12/7(木)	2	111	対人援助とコミュニケーションの 実践①	菊池 義人	臨床心理学	臨床的・援助的なコミュニケーションについて傾聴のエクササイズを行う。	ちよつと困った問題を話してみる。受け止めること、受容すること受け答えのエクササイズ。
8	12/14(木)	2	111	対人援助とコミュニケーションの 実践②	菊池 義人	臨床心理学	臨床的・援助的な場面での例題をもとにした応答を考える。	応答のポイント、カウンセリングと臨床・援助場面への応用

教育グランデザインとの関連:1、4

学位授与の方針との関連:3、4

評価: レポート等

人体の構造と機能Ⅱ

科目到達目標: 発生学的視点から人体の構造について学ぶ。

科目責任者(所属): 森 徹自(生体制御学)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	10/6(金)	4	111	配偶子形成	森 徹自	生体制御学	精子、卵子の形成を理解する。	減数分裂、染色体
2	10/13(金)	4	111	発生学総論1	森 徹自	生体制御学	発生第二週までの出来事を理解する。	細胞分裂、着床
3	10/20(金)	4	111	発生学総論2	森 徹自	生体制御学	発生第三週以降の出来事を理解する。	原腸形成、先天異常
4	10/27(金)	4	111	発生学総論3	森 徹自	生体制御学	外・中・内胚葉由来の構造物を理解する。	神経管、消化管、体腔
5	11/10(金)	3	111	心臓の発生	森 徹自	生体制御学	心臓の発生を理解する。	心臓ループ
6	11/10(金)	4	111	神経系、頭頸部の発生	森 徹自	生体制御学	頭頸部の発生を理解する。	鰓弓、大動脈弓
7	11/17(金)	3	111	泌尿生殖器系の発生	森 徹自	生体制御学	男女の違いを理解する。	中腎管、中腎傍管
8	11/17(金)	4	111	まとめ	森 徹自	生体制御学	まとめ	まとめ

教育プログラムデザインとの関連: 2、3、5

学位授与の方針との関連: 1、3

評価: レポート100%

教科書: 入門人体解剖学 改訂第5版 藤田 恒夫 南江堂

参考書: ラングマン 人体発生学 第10版 安田 峯生 訳 メディカル・サイエンス・インターナショナル

看護学方法論

- 到達目標： 1. 健康にかかわる課題についての判断、健康ニーズに応じた看護行為の実施、課題の評価を計画的に行うための基本的考え方を理解できる。
2. 看護師として看護実践における対人関係形成過程について理解し、対象者と援助的な対人関係を形成する重要性を理解できる。

科目責任者(所属)：栗納 由記子(基礎看護学)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	10/6(金)	3	111	看護の実践過程：序章と第1章	栗納 由記子	基礎看護学	看護技術と看護過程について説明できる。	問題解決過程、看護技術、援助的対人関係形成過程、看護理論
2	10/13(金)	3	111	コミュニケーション(対人関係形成過程：患者－看護師関係)	栗納 由記子	基礎看護学	看護実践における対人関係成立について理解を深める。	援助的対人関係、対象者の理解
3	10/20(金)	3	111	問題解決過程の構成要素	栗納 由記子	基礎看護学	アセスメント、問題の明確化、計画、実施、評価の過程が説明できる。	課題(問題)解決過程の特徴
4	10/27(金)	3	111	看護の情報と観察	栗納 由記子	基礎看護学	様々な観察方法と観察に影響する要因について考察できる。	看護の情報、選択知覚、概念枠組み
5	11/1(水)	2	湖山	事実の情報化	栗納 由記子	基礎看護学	データ収集の内容と方法、分析方法が説明できる。	手がかり、情報の種類、意味、推論、ヘンダーソン、看護の基本
6	11/1(水)	3	湖山	アセスメント(1)	栗納 由記子	基礎看護学	アセスメントについて説明できる。	情報、意味、推論、ニーズ、アセスメント過程
7	11/21(火)	2	湖山	アセスメント(2)	栗納 由記子	基礎看護学	事例をもとに、アセスメントできる。	情報、意味、推論、ニーズ、アセスメント過程
8	11/21(火)	3	湖山	課題(問題)の明確化(1)	栗納 由記子	基礎看護学	看護上の課題(問題)を明確化する過程を説明できる。	看護上の課題(問題)、原因、関連要因、関連図
9	12/21(木)	2	111	課題(問題)の明確化(2)	栗納 由記子	基礎看護学	事例をもとに、看護上の課題(問題)を明確化できる。	看護上の課題(問題)、原因、関連要因、関連図
10	1/18(木)	2	111	計画立案(1)	栗納 由記子	基礎看護学	看護目標と解決策の立案方法が説明できる。	長期目標、短期目標、解決策、優先順位
11	1/19(金)	2	111	計画立案(2)	栗納 由記子	基礎看護学	事例をもとに、看護目標と解決策の立案ができる。	長期目標、短期目標、解決策、優先順位
12	1/25(木)	2	111	看護実践におけるケアリング	吉持 智恵	(非常勤講師)	看護実践におけるケアリングについて理解を深める。	ケアリングの意義、実践、効果
13	1/26(金)	1	111	実施と評価	栗納 由記子	基礎看護学	看護実践の基本的な考え方と評価方法が説明できる。	生活リズム、看護技術の提供、目標達成度、問題解決過程の評価
14	1/26(金)	2	111	対人関係形成過程：アセスメント	栗納 由記子	基礎看護学	アセスメントを活用した看護場面の再構成の意義と方法を理解する。	自己分析、他者理解、フロースレコード
15	2/1(木)	2	111	看護の実践過程：まとめ	栗納 由記子	基礎看護学	看護実践過程についての理解を深める。	問題解決過程、看護技術、援助的対人関係形成過程、ケアリング

教育ブランドデザインとの関連：1,2,3,4,5,6,7

学位授与の方針との関連：1,2,3,4

- 教科書： 1. 新体系 看護学全書 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ、メヂカルフレンド社、深井喜代子編、2013年
- 参考書： 1. 看護学基礎テキスト第1巻 看護学の概念と理論的基盤、日本看護協会出版会、野嶋佐由美編、2012年
2. 看護学基礎テキスト第2巻 看護の対象、日本看護協会出版会、小山真理子編、2012年
3. 看護の基本となるもの、日本看護協会出版会、ヴァージニア・ヘンダーソン著、湯根ます・小玉香津子訳、2011年
4. ヘンダーソンの看護観に基づく看護過程、日総研、焼山和憲、2013年
5. 看護論と看護過程の展開、照林社、金子道子編著、2002年
6. 看護場面の再構成、日本看護協会出版、宮本真巳、2015年

評価： 課題 60% レポート 40%

生活援助論演習 I

科目到達目標:

- ① 看護援助の思考プロセスを理解できる。
- ② 看護基本技術に共通する感染予防・安楽確保・環境調整の知識・技術を習得できる。
- ③ 看護援助のための基本的機能の視点を理解できる。

科目責任者(所属教室): 奥田 玲子(基礎看護学)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	10/5(木)	3	111	科目オリエンテーション 看護援助のための基本的機能			看護援助の思考プロセスを知る。 看護援助のための基本的機能の視点(環境整備、コミュニケーション、ホテメカニクス、倫理、安全・安楽)を知る。	看護技術、 看護援助のための基本的機能 (環境整備、コミュニケーション、ホテメカニクス、 倫理、安全・安楽)
2		4						
3	10/12(木)	3	実習室	感染予防の技術 感染と感染予防の基礎知識 衛生的な手洗い・防護用具の着脱			感染成立のしくみ、感染予防策の基本的な考え方を理解する。 衛生的な手洗い、防護用具着脱方法を理解する。	感染成立の要件 スタンダードプリコーション 衛生的な手洗い、防護用具
4		4						
5	10/19(木)	3	実習室	安楽確保の技術 安楽な体位の保持 ホテメカニクスの基本			基本的な体位の種類と体位を安楽に保持する方法を理解する。 ホテメカニクスの基本とホテメカニクスを活用するための原則を理解する。	安楽、基本的な体位、 ホテメカニクスの原則
6		4						
7	11/16(木)	3	111・ 実習室	環境を整える技術 病床と病室の環境調整 ベッドメイキング			環境の諸要素について理解する。 病室・病床における環境調整の方法を理解する。 基本的なベッドメイキングの方法を理解する。	環境の諸要素、療養環境、 病室・病床の環境調整 ホテメカニクス、ベッドメイキング
8		4						
9		5						
10	11/24(金)	2	湖山	活動・休息の援助技術 活動のアセスメント、移動の方法			活動のニードに関するアセスメントの視点を理解する。 活動のニードの充足状態を対象者の情報からアセスメントし、必要な援助を判断する。 移動にかかわる技術の基本的留意点をふまえて、対象者に応じた実施計画を立てる。 援助を実施・評価し、安全・安楽・自立性を考慮したよりよい方法を検討する。 事例における移動の援助について基本的機能の視点から理解を深める。	活動、睡眠、サーガケア、アセスメント、 運動機能の評価、廃用症候群 体位変換、車椅子、ストレッチャー、 活動のニード、情報のアセスメント、 必要な援助の判断、 援助の実施計画、 援助の実施・評価、 看護援助のための基本的機能 (環境整備、コミュニケーション、ホテメカニクス、 倫理、安全・安楽)
11		3						
12	12/7(木)	3	実習室	体位変換				
13		4						
14	12/14(木)	3	実習室	車椅子 移乗・移送 基本的な留意点 事例を用いた援助				
15		4						
16		5						

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
17	12/21(木)	3	実習室	ストリッチャー 移乗・移送 基本的な留意点 事例を用いた援助	奥田 玲子 深田 美香 笠城 典子 栗納 由記子 山本 陽子 青戸 春香	基礎看護学	<ul style="list-style-type: none"> ・食事のニードに関するアセスメントの視点を理解する。 ・食事のニードの充足状態を対象者の情報からアセスメントし、必要な援助を判断する。 ・食べるにかかわる技術の基本的留意点をふまえ、対象者に応じた実施計画を立てる。 ・援助を実施・評価し、安全・安楽・自立性を考慮したよりよい方法を検討する。 ・事例における食事の援助について基本的機能の視点から理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 食事・栄養摂取、嚥下のしくみ、栄養摂取の方法 食事のニード、情報のアセスメント、必要な援助の判断、援助の実施計画、援助の実施・評価 看護援助のための基本的機能（環境整備、コミュニケーション、ホスピタリティ、倫理、安全・安楽）
18		4						
19		5						
20	1/11(木)	2	湖山	食生活と栄養摂取の援助技術 食事・栄養摂取のアセスメント、 栄養摂取の方法	奥田 玲子 深田 美香 笠城 典子 栗納 由記子 山本 陽子 青戸 春香	基礎看護学	<ul style="list-style-type: none"> ・バイタルサインを観察する意義について理解する。 ・バイタルサインに影響を与える因子について理解する。 ・体温、呼吸、脈拍、血圧を正確に観察・測定する方法を理解する。 ・対象者の情報をアセスメントし、対象者に適切なバイタルサイン観察・測定の方法を検討する。 ・技術の前後でバイタルサインを観察・測定することの目的や必要性について理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 生命活動、体温、呼吸・循環機能、バイタルサインに影響する因子、情報のアセスメント、バイタルサイン観察・測定 看護援助のための基本的機能（環境整備、コミュニケーション、ホスピタリティ、倫理、安全・安楽）
21		3						
22	1/18(木)	3	実習室	食事介助 事例を用いた援助	奥田 玲子 深田 美香 笠城 典子 栗納 由記子 山本 陽子 青戸 春香	基礎看護学	<ul style="list-style-type: none"> ・バイタルサインを観察する意義について理解する。 ・バイタルサインに影響を与える因子について理解する。 ・体温、呼吸、脈拍、血圧を正確に観察・測定する方法を理解する。 ・対象者の情報をアセスメントし、対象者に適切なバイタルサイン観察・測定の方法を検討する。 ・技術の前後でバイタルサインを観察・測定することの目的や必要性について理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 生命活動、体温、呼吸・循環機能、バイタルサインに影響する因子、情報のアセスメント、バイタルサイン観察・測定 看護援助のための基本的機能（環境整備、コミュニケーション、ホスピタリティ、倫理、安全・安楽）
23		4						
24	1/25(木)	3	実習室	生命活動を捉える技術 生活援助に必要な体温、呼吸、 循環の観察	奥田 玲子 深田 美香 笠城 典子 栗納 由記子 山本 陽子 青戸 春香	基礎看護学	<ul style="list-style-type: none"> ・バイタルサインを観察する意義について理解する。 ・バイタルサインに影響を与える因子について理解する。 ・体温、呼吸、脈拍、血圧を正確に観察・測定する方法を理解する。 ・対象者の情報をアセスメントし、対象者に適切なバイタルサイン観察・測定の方法を検討する。 ・技術の前後でバイタルサインを観察・測定することの目的や必要性について理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 生命活動、体温、呼吸・循環機能、バイタルサインに影響する因子、情報のアセスメント、バイタルサイン観察・測定 看護援助のための基本的機能（環境整備、コミュニケーション、ホスピタリティ、倫理、安全・安楽）
25		4						
26		5						
27	2/1(木)	3	実習室	呼吸の観察・測定 基本的な留意点	奥田 玲子 深田 美香 笠城 典子 栗納 由記子 山本 陽子 青戸 春香	基礎看護学	<ul style="list-style-type: none"> ・バイタルサインを観察する意義について理解する。 ・バイタルサインに影響を与える因子について理解する。 ・体温、呼吸、脈拍、血圧を正確に観察・測定する方法を理解する。 ・対象者の情報をアセスメントし、対象者に適切なバイタルサイン観察・測定の方法を検討する。 ・技術の前後でバイタルサインを観察・測定することの目的や必要性について理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 生命活動、体温、呼吸・循環機能、バイタルサインに影響する因子、情報のアセスメント、バイタルサイン観察・測定 看護援助のための基本的機能（環境整備、コミュニケーション、ホスピタリティ、倫理、安全・安楽）
28		4						
29	2/2(金)	1	実習室	体温・脈拍・呼吸・血圧の観察・測定 事例を用いた援助	奥田 玲子 深田 美香 笠城 典子 栗納 由記子 山本 陽子 青戸 春香	基礎看護学	<ul style="list-style-type: none"> ・バイタルサインを観察する意義について理解する。 ・バイタルサインに影響を与える因子について理解する。 ・体温、呼吸、脈拍、血圧を正確に観察・測定する方法を理解する。 ・対象者の情報をアセスメントし、対象者に適切なバイタルサイン観察・測定の方法を検討する。 ・技術の前後でバイタルサインを観察・測定することの目的や必要性について理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 生命活動、体温、呼吸・循環機能、バイタルサインに影響する因子、情報のアセスメント、バイタルサイン観察・測定 看護援助のための基本的機能（環境整備、コミュニケーション、ホスピタリティ、倫理、安全・安楽）
30		2						

教育ブランドデザインとの関連：2.3.4.5.7

学位授与の方針との関連：1.2.3.4

指定教科書： 1. 深井喜代子 編集：新体系 看護学全書 基礎看護学② 基礎看護技術 I、メヂカルフレンド社

2. 深井喜代子 編集：新体系 看護学全書 基礎看護学③ 基礎看護技術 II、メヂカルフレンド社

評価：小テスト50%、振り返りシート50%

基礎看護学実習 I

科目到達目標: 1.看護の対象者とのかかわりを通して、健康、生活、環境について学び、生活者である人間の生活過程について理解を深める
2.看護実践場面の体験を通して、看護の基本的機能(コミュニケーション、安全・安楽、倫理)について理解を深める

科目責任者(所属): 深田 美香 (基礎看護学)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1・2	10/6(金)	1・2	111 ATU1・2・5~10	オリエンテーション 臨地実習の心構え	深田 美香 笠城 典子 粟納 由記子 奥田 玲子 山本 陽子 青戸 春香	基礎看護学	実習の目的、内容、方法について理解する	健康、健康観、生活行動、生活環境、療養環境、物理的環境、人的環境、コミュニケーション、安全・安楽、倫理、看護の基本的機能、思考、分析、統合、協調、表現、プレゼンテーション力
3・4	10/13(金)	1・2	111 ATU1・2・5~10	鳥取大学医学部附属病院の概要と看護部の理念				
5・6	10/20(金)	1・2	ATU1・2・5~10	病棟オリエンテーション/看護の基本的機能			附属病院の概要、看護部の理念等について知る	
7・8	10/26(木)	3・4	ATU1・2・5~10	健康・生活・環境/生活過程/看護の基本的機能			病棟の概要を知る 自己の学習課題を明確にする	
9・10	10/27(金)	1・2	ATU1・2・5~10	健康・生活・環境/生活過程/看護の基本的機能			看護の対象者とのかかわりを通して、健康、生活、環境について学び、生活者である人間の生活過程について理解を深める	
11・12	11/1(水)	1~4	湖山	家庭訪問(健康・生活・環境/生活過程)				
13・14	11/9(木)	3・4	ATU1・2・5~10	学外施設(健康・生活・環境)			看護実践場面の体験を通して、コミュニケーション、安全・安楽、倫理の基本的機能について理解を深める	
15・16	11/10(金)	1・2	ATU1・2・5~10	健康・生活・環境/生活過程/看護の基本的機能				
17・18	11/17(金)	1・2	ATU1・2・5~10	健康・生活・環境/生活過程/看護の基本的機能			実習での学びを共有し、自己の実習での学びを深める	
19・20	12/8(金)	1・2	ATU1・2・5~10	健康・生活・環境/生活過程/看護の基本的機能				
21・22	12/15(金)	1・2	ATU1・2・5~10	健康・生活・環境/生活過程/看護の基本的機能			健康、生活、環境、価値観、生活過程、思考、分析、統合、協調、表現、プレゼンテーション力	
23・24	12/22(金)	1・2	111	学習内容の共有と討議				

教育ブランドデザインとの関連: 2,3,4,5,6,7

学位授与の方針との関連: 1,2,3,4

評価: 実習目標の到達度について、到達目標1は30点、到達目標2は30点、レポート40点で評価する。

その他: 看護学生の臨床実習用損害賠償保険に加入しなければ受講できない

麻疹、風疹、流行性耳下腺炎、水痘の抗体価の確認あるいはワクチン接種が終了していないと受講できない